

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成25年度）

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 補助事業期間 平成24年度～平成26年度

5. 課題番号

2	4	5	0	0	0	7	7
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 複数リンクで構成されるサイト内のIPv6アドレス自動割当

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 5 1 5 3 2 6	オオヒラ ケンジ 大平 健司	情報科学研究科	助教

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

平成25年度は、平成24年度に構築した実験ネットワークを用い、科研費21700073「動的ポリシールーティングを用いたユーザトラフィックの詳細かつ容易な制御」の成果と平成24年度中に構築したプロトコル実装を組み合わせで動作させた際の挙動を調査し、評価を行った。

これにより、複数の上流ISPと接続し各ISPから異なるプレフィックスを割り当てられているサイトにおいて、各ISPから割り当てられているプレフィックスを同時にサイト内に配布し、パケットに付すプレフィックス毎に異なる上流ISPに向かうようトラフィックを制御できること、これら一連の動作を自動化可能であることが確認された。

なお、平成25年7月22日から26日の会期で実施された「IEEE COMPSAC 2013」（会場：京都テルサ、京都府京都市）、平成25年7月28日から8月2日の会期で実施された「IETF 87」（会場：InterContinental Berlin、ドイツ国ベルリン市）、平成25年8月12日から16日の会期で実施された「ACM SIGCOMM 2013」（会場：Yasumoto International Academic Park、中華人民共和国香港）、平成25年10月16日の会期で実施された「IPv6 Summit in Kyoto 2013」（会場：キャンパスプラザ京都、京都府京都市）に出席し、関連研究の最新状況について情報収集を行った。

また、平成26年2月27日から28日の会期で実施された「電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会」（会場：山代温泉 瑠璃光、石川県加賀市）に出席し、「複数リンクで構成されるサイト内におけるOSPFv3を用いたIPv6アドレス自動割当」と題する発表を行った。

10. キーワード

(1) インターネット高度化	(2) IPv6	(3) アドレス割当	(4) 自動化
(5)	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

研究計画調書のうち「平成25年度以降の研究実施計画」記載事項をおおむね実現できているため上記区分とした。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成26年度も平成25年度同様、研究計画調書の記載内容に沿って研究を推進する予定である。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

技術進展による物品価格の低下や経費節約努力などによるものと考えられる。次年度使用額の発生は適正な範囲であるものとする。

(使用計画)

研究計画調書の記載に沿った研究計画の遂行を平成26年度も引き続き行う。

13.研究発表(平成25年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

(学会発表) 計(1)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題	
大平 健司		複数リンクで構成されるサイト内におけるOSPFv3を用いたIPv6アドレス自動割当	
学会等名	発表年月日	発表場所	
電子情報通信学会	2014年02月27日～2014年02月28日	山代温泉瑠璃光(石川県加賀市)	

(図書) 計(0)件

著者名		出版社	
書名		発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

--